※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合 (併修)	単位数	３単位	年次	全年次
使用教科書	「地理総合」（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は１５回の対面授業と８回のレポート提出で評価されます。単位修得するには、すべてのレポートについて提出日を守って提出し、休まず対面授業に参加し、単元テストで一定以上の点数を獲得することが必要です。対面授業を主とする通常の授業に比べて、自分のペースで学習を進めることができますが、一方で本人の自己管理が求められますのでその点に注意してください。

２　学習の到達目標

・人々の暮らしや文化、そしてそれが形成された自然環境的な背景について学ぶことで、生活をよりよくしていくための技能を身につける。
・環境問題など私たちが直面している地球規模の問題を正しく理解して、ＳＤＧｓ(持続可能な開発目標)の達成など、自分に何ができるのかを考え、実践することができるようになる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・国や地域によって異なる地形や気候、文化や産業などの基本的な知識を身につけている。 ・現代世界の地理的諸課題について地球的視野から理解し、その対策や持続可能な社会の実現について考察する。 ・世界の各地域を理解するために、統計資料やグラフから、有用な情報を適切に読み取り、それらを効果的に活用することができる。	・世界の地域の特色や諸課題について、歴史的背景などの様々な要素と関連付けて、多角的、多面的、批判的に考察し、その結果や過程を適切に表現できる。	・世界の地理に対する関心を高め、主体的に学習に取り組むことができる。 ・地理を学ぶ中で、国際社会に生きる当事者としての自覚をもち、能動的に考える態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	現代世界の系統地理的考察	・世界の工業 ・世界を結ぶ交通・通信 ・現代世界の貿易と経済圏 ・世界の人口、人口問題 ・村落と都市 ・生活文化 ・民族と宗教 ・民族・領土問題	a:主題設定した学習を通して、地理的視点の重要性、日本の歴史とのつながり、日常生活からも世界の歴史が捉えられることなどの世界史を学ぶ視点と、世界史学習の意義に気付いている 主題設定した学習を通して、事例の考察に必要な諸資料について、有用な情報を読み取ったり、図表にまとめたりなどしている。 b:主題設定した学習を通して、具体的様相や変遷などを考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:自然環境と人類の関わり、日本の歴史と世界の歴史のつながり、日常生活にみる世界の歴史に関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。	単元テスト	単元テスト 課題プリント レポート	授業への取組 課題プリント

※令和４年度以降入学生用

後半	現代世界の地誌的考察	・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア ・アフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア	a:世界各地に形成された独自の地域世界の基本的な事柄を把握し、その知識を身につけている。 世界各地に形成された諸地域世界の特質に関する諸資料を収集し、読み取ったり図表にまとめたりしている。 b:世界各地に形成された諸文明及び諸地域世界の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:人類が自然環境に適応しながら築き上げた諸文明及び諸地域世界に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	単元テスト	単元テスト 課題プリント レポート	授業への取組 課題プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度